

令和 6 年度 施策評価表

施策	1401	商店街の振興	施策担当部	産業振興部	部長	浦山 優
			施策担当課	商工振興課	課長	松尾 直紀
施策の方針	商工会議所等の関係団体と連携し、各商店会等を支援するなど、にぎわいのある商店街づくりを進める。 また、「市民交流プラザ」における交流事業のほか、「プラットおおむら（中心市街地複合ビル）」や集客力のある「ミライオン（県立・市立一体型図書館及び大村市歴史資料館）」を活かし、中心商店街の活性化に取り組む。					
関連するSDGsのゴール	   					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値（R1）	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 中心商店街の空き店舗率	%	11.8	11.2 12.2	10.9 12.3	10.6 12.3	10.3	10.0	86.2%	81.3%
② 中央商店街の通行者数（6地点の延べ人数）	人/日	6,264	7,160 7,520	7,195 6,823	7,230 6,668	7,265	7,300	92.2%	91.3%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①空き店舗数16店舗、全店舗数130店舗とともに令和4年度から増減なしのため、空き店舗率も変化はなく、目標達成には至らなかった。
- ②中央商店街の1日当たりの通行者数は、前年度(6,823人)から155人減少し、目標値を562人下回る結果となった。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	51,083	53,380	52,775	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	600	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	6,290	5,544	
	一般財源	51,083	46,490	47,231	
人件費	4,700	4,810	—		
フルコスト	55,783	58,190	—		

施策の概要（細施策）

140101	にぎわいのある商店街づくり	各地域の商店街の活性化を図るため、街路灯などの商店街共同施設の整備を支援するとともに、新幹線開業における賑わい創出に向けた取組について支援します。 また、商工会議所等の関係団体と連携しながら、各商店街の魅力向上のための取組を推進します。
140102	中心商店街の活性化	JR大村駅周辺の中心商店街の活性化を図るため、「プラットおおむら（中心市街地複合ビル）」や集客力のある「ミライオン（県立・市立一体型図書館及び大村市歴史資料館）」を活かし、空き店舗対策や、にぎわいを創出する集客イベント等に取り組みます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

プラザおおむら、コレモ前広場、プラットおおむら前広場及びミライonと連携し、「第8回高校生フェスINプラザおおむら」を開催した。ミライonにおいても大村市内の高校生による展示を行ったり、今年初の試みである大村高校家政科の生徒自作のドレスを披露するファッションショーもおこない、賑わい創出を図った。
 また、空き店舗数は昨年度から変化がなかったため、空き店舗率も変化がなかった。
 引き続き、ミライonやプラザおおむら等の核となる施設と連携し、中心商店街のにぎわいを創出するための取組を進めていく必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

新型コロナウイルス感染症の5類移行などにより、市内でも新規出店や創業の機運が高まっている中で、空き店舗対策として家賃補助を行っているテナントミックス事業を継続して行い、商店街に新たな事業者及び客層を取り込むきっかけとすることで賑わい創出につなげる。
 また、市民交流プラザの交流事業の中で、中心商店街や「ミライon」と連携しさらなる賑わい創出を図る。

令和7年度新規事業

	事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				